

# 令和元年度補正予算オリパラ基本方針推進調査事業 「別府市バリアフリー観光・旅行冊子製作業務」

## 《事業の目的》

共生社会ホストタウンの登録を機に、市民の共生社会への理解の深化による本市の共生社会の推進とおもいやりの取り組みを加速させるため、観光等により来市する障がい者等へバリアフリー情報と観光情報を掲載した冊子を製作する。

## 《本誌の特徴》

障がい者視点の調査により、観光施設などのバリアを明らかにし、その情報を伝える事で、旅の選択肢を増やしていく。

完全なバリアフリー（以下、BF）施設は少なく、今までBF情報のみを求めていた為、発信数は限られていました。

しかし、BFトイレ等は無くても、入口から段差もなく利用できる施設は沢山あります。例えば、「段差が二段ありますが、その先にはとても美しい絶景を観る事ができる場所」と情報サイトに掲載します。どうしても行きたいと思えば、事前に介助者やボランティアに呼びかけをし、絶景を観る為の準備をすることができます。

これまでは、そのような素晴らしい場所があっても、情報が全くなく、選択肢にすら上げられていませんでした。バリアの情報を知った上でどのような判断をするか、決めるのは本人です。

限られた選択肢の中からではなく、沢山の選択肢を持てることで、旅の可能性を広げていくこと。

「行ける場所ではなく、行きたい場所へ！」

をキャッチフレーズに、本誌でも多くの情報を掲載していきます。

皆さまが、別府市観光・旅行を最高に満喫していただけますように…